

九州アグロ・イノベーション2019

農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム

@九州・沖縄

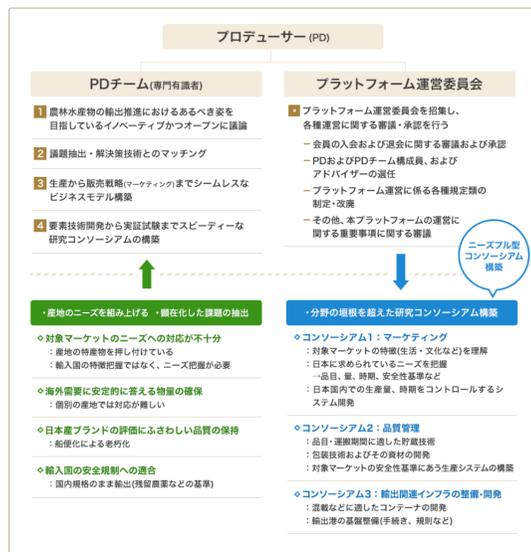
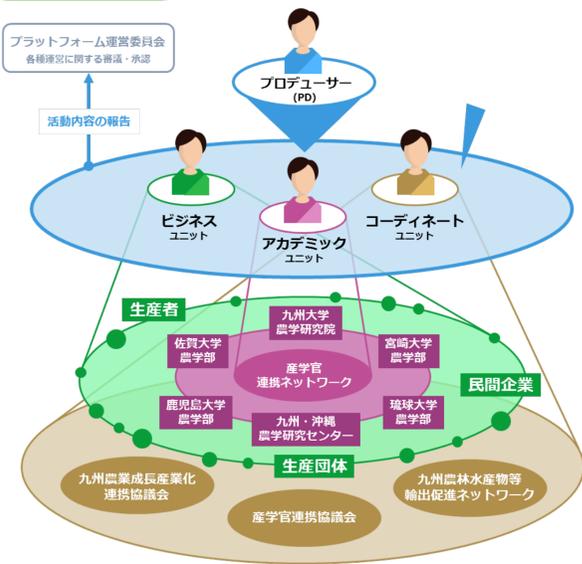
◆ 農林水産物の輸出促進に関する課題解決に向けた産学官連携による取り組み

設立趣旨

日本の農林水産物の発展に資する農林水産物の輸出促進には、生産者とともに輸出に取り組む者の実践をベースに、既存の枠組みを越えて、異業種による協創、多様な知の集積によるオープンイノベーションの取り組みが不可欠であり、その実現の場として設立した。本プラットフォームは、農林水産物の輸出プロセスを、農林水産物の生産から輸送、販売、消費までシームレスに捉え、プロセスの制約要因となる本質的な課題を抽出し、抽出した課題に対して産学官連携で構築する研究開発体制によりスピーディーに解決を図り、生産者の所得向上、農林水産物の輸出増大に向け活動をおこなう。



運営体制

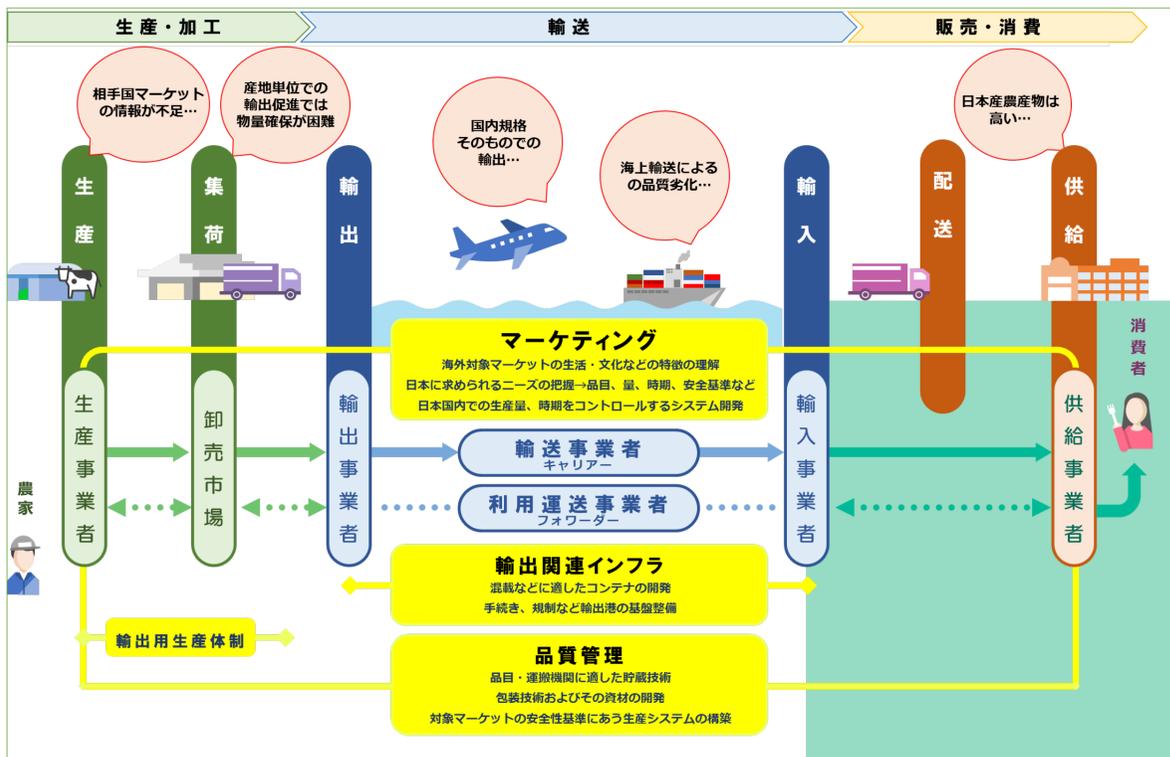


活動目標

- ◆ 輸出促進による生産農業所得の向上
- ◆ 新たな輸送システムの研究開発による高品質低コスト輸送の実現
- ◆ 産地間連携による輸出モデルの構築
- ◆ 輸出国マーケットニーズに対応する生産・輸出モデルの構築

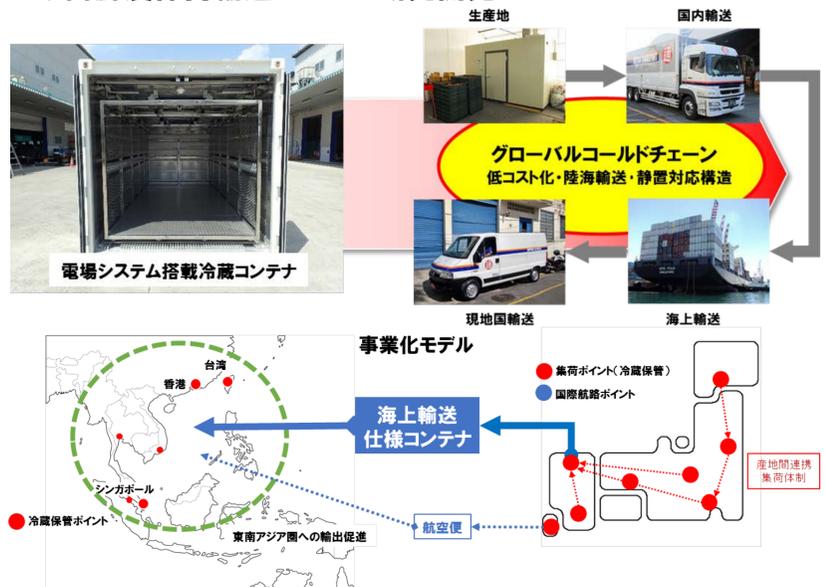
課題解決に向けたキーコンセプト

農林水産物の生産から輸送、販売、消費までシームレスに捉え、プロセスの制約要因となる本質的な課題を抽出し、抽出した課題に対して産学官連携で構築する研究開発体制

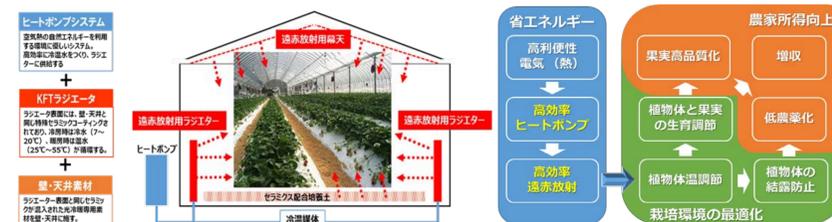


研究開発（研究開発コンソーシアム）

◆ 高鮮度保持輸送システム研究開発コンソーシアム



◆ 次世代施設栽培技術開発コンソーシアム



活動実績

●研究会 九州、沖縄地域において定期的に研究会を開催（全14回開催）



●現地調査

